

メキシコ政治情勢（12月）

〔概要〕

【内政】

- 3日、シェインバウム大統領選挙予備候補は、大統領選挙に向けた政策立案のための討論会を率いるチームを発表した。
- 3日、ガルシア・ヌエボレオン州知事は、大統領選挙出馬を断念し、休職していたヌエボレオン州知事に復職した。
- 4日、当地レフォルマ紙は、2024年大統領選挙に向けた世論調査結果を発表した。支持率はそれぞれ、与党連合が52%、野党連合が39%、市民運動（MC）が7%。
- 4日付当地エル・フィナンシエロ紙は、大統領支持率等に係る世論調査結果を発表した。「ロ」大統領の支持率は、56%（前月比0ポイント）。
- 14日、「ロ」大統領は、バトレス氏（前大統領府法律顧問）を最高裁判事に任命した。
- 19日、野党・制度的革命党（PRI）の元議員であったムラ前オアハカ州知事他4名は、与党連合のシェインバウム予備候補を支持する政治団体「進歩同盟（Alianza Progresista）」を結成した。
- 29日、「ロ」大統領は、大規模福祉薬局の落成式に出席。

【外交】

- 5日、中国を訪問中のバルセナ外相は、王毅中国外交部長と会談し、6日、韓正中国国家副主席と会談した。
- 13日、墨外務省は、COP28に参加した旨報告した。
- 14日、上院は、バスコンセロス国連代表部常駐代表の指名を本会議で承認した。
- 27日、「ロ」大統領は、メキシコを訪問中のブリンケン米務長官をヘッドとした米国高官代表団と移民について会談した。

〔本文〕

【内政】

1 シェインバウム氏、大統領選挙に向けた政策立案のための討論会チームを発表

3日、与党連合のシェインバウム大統領選挙予備候補は、メキシコ市において、2024年大統領選挙に向けた政策のための討論の場を社会に開放すると発表した。「シェ」予備候補は、「変革のための対話」と呼ばれる討論会には17の議題が含まれていると述べた。「シェ」予備候補は、同対話を率いるチームを発表し、「(同チームは、)政府の事業、計画、開発計画を、複数の多様な意見に基づいて構築する対話の調整、ワーキングテーブルを担当するに過ぎない」と述べた。対話の中で取り上げられる17の議題は、幅広い対話を確

立するために11月17日に提起されたものである。各対話を率いるチームのメンバーは以下のとおり。

- (1) デ・ラ・フエンテ前国連大使 (Juan Ramon de la Fuente)
- (2) サンチェス元最高裁判事 (Olga Sanchez Corddero)
- (3) コラル前チワワ州知事 (Javier Corral)
- (4) アラルコン前メキシコ市国際調整官 (Diana Alarcon)
- (5) サルディバル前最高裁判事 (Arturo Zaldivar)
- (6) ガルシア前メキシコ市治安長官 (Omar Gracia Harfuch)
- (7) バスケス＝ロハス・メキシコ大学院大学教授 (Violeta Vazquez-Rojas)
- (8) メリノ前メキシコ市デジタル長官 (Jose Merino)
- (9) ゴメスPEO社社長 (Altagracia Gomez Sierra)
- (10) ベルデゲ氏 (Jose Antonio Berdegue)
- (11) エスキベル・メキシコ銀行副総裁 (Gerardo Esquivel Hernandez)
- (12) ハープ上院議員 (Susana Harp)
- (13) イスラス・メキシコ国立自治大学教授 (気候変動) (Jorge Islas)
- (14) ケルシェノビッチ・メキシコ国立自治大学教授 (医師) (David Kershenobich)
- (15) メイエル・メキシコ大学院大学名誉教授 (Lorenzo Meyer)
- (16) ピネダ氏 (詩人) (Irma Pineda)
- (17) ルイス前メキシコ市教育長官 (Rosaura Ruiz)

3 ガルシア・ヌエボレオン州知事、大統領選挙出馬を断念しヌエボレオン州知事に復職
ガルシア・ヌエボレオン州知事は、休職中の暫定州知事の選出をめぐる議会と対立していたが、最高裁が議会選出の暫定州知事の就任を認める判断をしたことから、3日、「ガ」州知事は、市民運動(MC)の大統領選挙候補者となることを断念。休職していたヌエボレオン州知事に復帰した。

4 大統領選挙に向けた世論調査結果

4日、当地レフォルマ紙は、2024年大統領選挙に向けた世論調査結果を発表したところ、右概要以下のとおり。

(1) 本日が大統領選挙の投票日であった場合、どの政党に投票するか。

ア 与党連合：52% (前回(8月、以下同じ) 53%)

内訳：

(ア) 国家再生運動(MORENA)：51% (前回49%)

(イ) 労働党(PT)：1% (前回2%)

(ウ) 緑の党：2% (前回2%)

イ 野党連合：39% (前回43%)

内訳：

(ア) 国民行動党 (PAN)：20% (前回21%)

(イ) 制度的革命党 (PRI)：16% (前回19%)

(ウ) 民主革命党 (PRD)：3% (前回)

ウ 市民運動 (MC)：7% (前回4%)

(2) 以下のうち、いずれがメキシコにとって良いことであるか。

ア 次期大統領の政党が議会の過半数を獲得する：48%

イ 議会が大統領に対するカウンターウェイトとなる：36%

ウ 分からない：16%

(3) 「ロ」大統領は、第四次変革の「指導者の杖」を与党連合大統領候補となる「シェ」氏に受け渡したが、第四次変革及びMORENAの重要な決断は誰が実施しているか。

ア ロペス・オブラドール大統領：60%

イ シェインバウム氏：17%

ウ 両者

エ 分からない：9%

(4) 2024年大統領選挙はすでにMORENAが勝利すると決定づけられているか、いまだ不透明で野党が勝利する可能性があるか。

ア 結果は不透明であり、まだ野党が勝つ可能性がある：48%

イ すでにMORENAの勝利が決定づけられている：47%

(5) 以下の人物についての意見如何。

ア シェインバウム氏

(ア) 非常に良い、良い：49% (前回44%)

(イ) 普通：14% (前回14%)

(ウ) 悪い、非常に悪い：19% (前回13%)

(エ) 知らない：18% (前回29%)

イ ガルベス上院議員

(ア) 非常に良い、良い：28% (前回22%)

(イ) 普通：13% (前回9%)

(ウ) 悪い、非常に悪い：26% (前回22%)

(エ) 知らない：33% (前回47%)

ウ ガルシア・ヌエボレオン州知事 (当館注：12月3日に大統領選挙立候補を辞退)

(ア) 非常に良い、良い：25% (前回17%)

(イ) 普通：16% (前回10%)

(ウ) 悪い、非常に悪い：20% (前回17%)

(エ) 知らない：39% (前回56%)

(6) 与党連合と野党連合のうち、現時点で強く結束しているのはどちらか。

- ア 与党連合：63%
- イ 野党連合：20%
- ウ どちらでもない：12%
- エ どちらも当てはまる：5%

(7) ガルシア州知事が市民運動（MC）の大統領候補になるためにが休職を願いでたことに賛成か反対か。（当館注：12月3日に大統領選挙立候補を辞退）

- ア 賛成：37%
- イ 反対：34%
- ウ 意見はない：29%

(8) 市民運動（MC）が大統領選挙に単独候補を擁立することは、与党連合又は野党連合にどのように働くか。

- ア 与党連合
 - (ア)：優位に働く：29%
 - (イ)：悪影響を及ぼす：30%
 - (ウ)：どちらでもない：26%
- イ 野党連合
 - (ア)：優位に働く：17%
 - (イ)：悪影響を及ぼす：45%
 - (ウ)：どちらでもない：21%

3 大統領支持率等に係る世論調査結果

4日付当地エル・フィナンシエロ紙は、大統領支持率等に係る世論調査結果を発表したところ、概要以下のとおり。ロペス・オブラドール大統領の支持率は、56%（前月比0ポイント）。

(1) 「ロ」大統領の取組を支持するか。

- ア 支持する：56%（前回（10月、以下同じ）56%）
- イ 支持しない：44%（前回43%）

(2) 各分野における「ロ」政権の取組を如何に評価するか。

- ア 経済
 - (ア) とても良い、又は良い：36%（前回36%）
 - (イ) とても悪い、又は悪い：49%（前回48%）
- イ 治安対策
 - (ア) とても良い、又は良い：24%（前回26%）
 - (イ) とても悪い、又は悪い：63%（前回60%）
- ウ 汚職対策
 - (ア) とても良い、又は良い：35%（前回33%）

(イ) とても悪い、又は悪い：47% (前回47%)

エ 社会給付

(ア) とても良い、又は良い：51% (前回57%)

(イ) とても悪い、又は悪い：30% (前回23%)

(3) 「ロ」政権の5年間を表す際、以下の言葉のうちいずれを用いるか。

ア 組み合わせ1

(ア) 変革：55% (前回(昨年11月、以下同じ) 52%)

(イ) 同じことの繰り返し：35% (前回34%)

イ 組み合わせ2

(ア) 成功：52% (前回41%)

(イ) 失敗：37% (前回31%)

ウ 組み合わせ3

(ア) 希望：55% (前回49%)

(イ) 失望：36% (前回33%)

(4) 最高裁の取組を支持するか。

ア 支持する：57% (前回(9月、以下同じ) 54%)

イ 支持しない：39% (前回41%)

(5) 議会の取組を支持するか。

ア 支持する：52% (前回44%)

イ 支持しない：48% (前回44%)

(6) 以下の大統領に期待される特質について「ロ」大統領を好評価するか。

ア 誠実さ：58% (前回(10月、以下同じ) 57%)

イ リーダーシップ：58% (前回53%)

ウ 結果を出す能力：42% (前回48%)

4 バトレス氏(前大統領府法律顧問)の最高裁判事任命

14日、ロペス・オブラドール大統領は、バトレス氏(前大統領府法律顧問)を最高裁判事に任命した。任命までの経緯は以下のとおり。

(1) 11月7日、サルディバル最高裁判事(当時)は、「ロ」大統領に辞表を提出。翌8日、「ロ」大統領は、同辞表を受理し上院に送付。15日、上院議会は「サ」判事の辞任に関する司法委員会の意見書を採決し受理した。

(2) 11月15日、「ロ」大統領は、「サ」判事の後任として、以下3名を候補者として上院に提示。

ア ベルタ・マリア・アルカルデ・ルハン氏(Bertha Alcalde Lujan)(アルカルデ内務相の姉)

イ レニア・バトレス・グアダラマ氏(Lenia Batres Guadarrama)

ウ マリア・エステラ・リオス・ゴンサレス氏 (Maria Estela Rios Gonzalez) (大統領府法律顧問)

(3) 11月29日、上院議会において、任命にかかる投票が実施されたが、必要な賛成票(議席の3分の2)が得られず否決。

(4) 12月1日、憲法の規定に従い、再度「ロ」大統領が候補者以下3名を候補者として上院に提示。

ア ベルタ・マリア・アルカルデ・ルハン氏

イ レニア・バトレス・グアダラマ氏

ウ マリア・エレンディア・クルスビジェガス・フエンテス氏 (Maria Erendira Cruzvillegas Fuentes)

(5) 12月13日、再度上院での採決が行われたが、同候補者3名が必要な賛成票数を得られず否決された。

(6) 12月14日、憲法の規定に従い、「ロ」大統領がバトレス氏を任命した。大統領が提示した最高裁判事候補者案が上院で二度否決され、大統領の指名にもとづき1名が任命されるのは1994年の憲法改正後初めて。

5 野党・制度的革命党(PRI)の党员によるシェインバウム予備候補を支持する政治団体の結成

19日、PRI党员であったムラ前オアハカ州知事、マヨルガ上院議員(Nuvia Mayorga Delgado)、アビラ元メキシコ州知事(Eruviel Avila Villegas)、ラミレス上院議員(Jorge Carlos Ramirez Marin)、ルバルカバ前メキシコ市クアヒマルパ区長(Adrian Rubalcava Suarez)の5名は、与党連合の大統領予備候補であるシェインバウム氏を支持する政治団体「進歩同盟(Alianza Progresista)」を設立した旨発表した。

6 大規模福祉薬局の開所式

29日、ロペス・オブラドール大統領は、「大規模福祉薬局」の開所式に出席。同薬局の開業により、45ヘクタールの倉庫に、1,400種類を超える医薬品等及び今後数ヶ月間においては医療機器を備蓄し、医療機関に共有できる体制をとる。

【外交】

1 バルセナ外相の中国訪問

(1) 5日、初めて中国を公式訪問したバルセナ外相は、王毅中国外交部長と会談し、11月16日にサンフランシスコで実施されたロペス・オブラドール大統領及び習近平中国国家主席の会談のフォローアップを行った。両外相は、両大統領が、昨今の近い関係のなかで、二国間関係を強化し、両国の友好な関係を再確認し、重要な合意に達したことで一

致した。「バ」外相は、オーティス被害に対する中国の支援及び被災者のための家電製品の即時購入のための便宜について謝意を表した。王外相は、習主席が同災害についてメキシコを支援するよう指示したことを認めた。両外相は、本年10周年を迎える包括的戦略的パートナーシップの枠組みの中で、二国間関係を深めることの重要性につき一致し、2024年、第7回二国間常設委員会を開催し、コロナ禍後の二国間関係を積極的に再開する旨合意した。

両者は、10月にメキシコ政府関係者が中国を訪問したことの重要性につき一致した。本訪問により、両国間で作業部会が設置され、合成麻薬及びフェンタニルの製造に使用される可能性のある化学原料の密売を撲滅するために協力するとともに、これらの物質の違法使用と闘うために、製造チェーンの監視を実施し、情報交換を行うことで合意した。

「バ」外相は、ホンジュラスが暫定議長国を務めるCELAC中国フォーラムを強化し、中国とラ米カリブ地域との密接な関係を構築し続けることの重要性を強調した。

「バ」外相は、メキシコが「一つの中国」の原則を堅持していることを改めて強調し、両外相は、両国を結びつける友好、信頼、及び相互尊重を改めて明確にした。

(2) 6日、中国訪問中のバルセナ外相は、韓正中国国家副主席と会談した。本会談は、二国間関係を強化し、オーティス被災者のための具体的行動を調整することが目的であった。会談のなかで、「バ」外相は、本訪中は、ロペス・オブラドール大統領及び習近平中国国家主席がサンフランシスコで交わした友好及びコミットメントを再確認するものであると述べた。「バ」外相は、「ロ」大統領から習国家主席に対し、中国国民への温かい挨拶と友好を伝えるよう要請した。また、コロナ禍及びオーティス被害における中国の連帯に謝意を表するとともに、同災害における人道支援活動のために、中国がメキシコ赤字に10万ドルを寄付したことを強調した。「バ」外相は、本訪問中にオーティス被災者のための日用品及び電化製品の調達を成し遂げたことを振り返り、本成果は中国外交部及び商務部との会合の賜物であるとした。

墨外務省は、中国側に対し、大洋間回廊及びマヤ鉄道といったメキシコのインフラ事業視察に招待した。

「バ」外相は、本年10周年を迎える包括的戦略的パートナーシップの枠組みにおける協力強化の重要性を強調し、二国間対話の再開と2024年の第7回二国間常設委員会の開催に関心を示した。

「バ」外相は、メキシコが「一つの中国」原則を堅持していること、技術協力及び教育協力を強化する必要があること、貿易、観光、投資、文化、及び人的交流を更に強化するため、航空路線の回復を実現する努力を行っていることを改めて強調した。

韓副主席は、オーティス被災地の一刻も早い復旧及び復興を願う習主席の意向を「ロ」大統領に伝えるよう要請した。また、メキシコの「一つの中国」へのコミットメントに謝意を表し、高水準を維持している両国関係の戦略的且つ補完的な性質を強調した。また、

政治的信頼、協力、相互理解を目指し、多国間を含む多様な分野でメキシコと協力する用意があることを表明した。

2 メキシコ政府のCOP28への参加

13日、墨外務省はプレスリリースを発出し、COP28において、COP27で合意された損失と損害（ロス&ダメージ）基金の運用ルールが採択されたこと、及びパリ協定の実現に関するグローバル・ストックテイクを初めて実施することになったことを評価し、持続可能なエネルギーのためのソノラ計画の進捗状況を報告した。

3 バスコンセロス国連代表部常駐代表を承認した。

14日、上院は、バスコンセロス国連代表部常駐代表の指名を本会議で承認した。「バ」大使は、直近まで上院外交委員長を務めた。

4 ロペス・オブラドール大統領とブリンケン米国务長官との移民にかかる会談

27日、ロペス・オブラドール大統領は、メキシコを訪問中のブリンケン米国务長官をヘッドとした米国高官代表团と移民について会談した。「ロ」大統領は、前週に行われた移民管理に焦点を当てた墨米首脳電話会談に続き、同代表团をメキシコに派遣したバイデン米大統領に謝意を表した。

両国は、秩序ある、人道的な、正規の移住を促進するための既存のコミットメントを再確認した。これは、キューバ人、ハイチ人、ニカラグア人、ベネズエラ人のための共同イニシアティブと同様に、貧困、不平等、暴力といった移住の根本原因に取り組むための協力の強化が含まれる。また、協力内容には、人身売買及び犯罪網を崩壊させるための取組の強化や、合法的な移動手段を促進する取組の継続も含んでいる。さらに、両代表团は、国境を共有する墨米間貿易を維持、促進することの重要性につき合意した。

「ロ」大統領は、安全で秩序ある正規移住を模索する「バ」大統領のコミットメントを強調した。「ロ」大統領は、米州地域のすべての国々との外交的及び政治的コミットメントを継続し、米州全体で野心的な開発事業に投資する必要性を強調した。

両代表团は、バイデン政権が開発援助及び人道支援を通じ、地域への新たな民間投資促進に向けて取り組んでいることを強調した。

両代表团は、米国経済及び社会にとって不可欠な存在であるヒスパニック系長期非正規移民及びDACA受給者の身分を正規化する利点についても意見交換した。

両代表团は、2024年1月にワシントンD. C. で再会し、移民管理に関する強固なパートナーシップをさらに前進させることで合意した。